

[保存版]

芦屋市春日町地区防災計画 (避難所開設編)



2025年3月

芦屋市春日町自主防災会

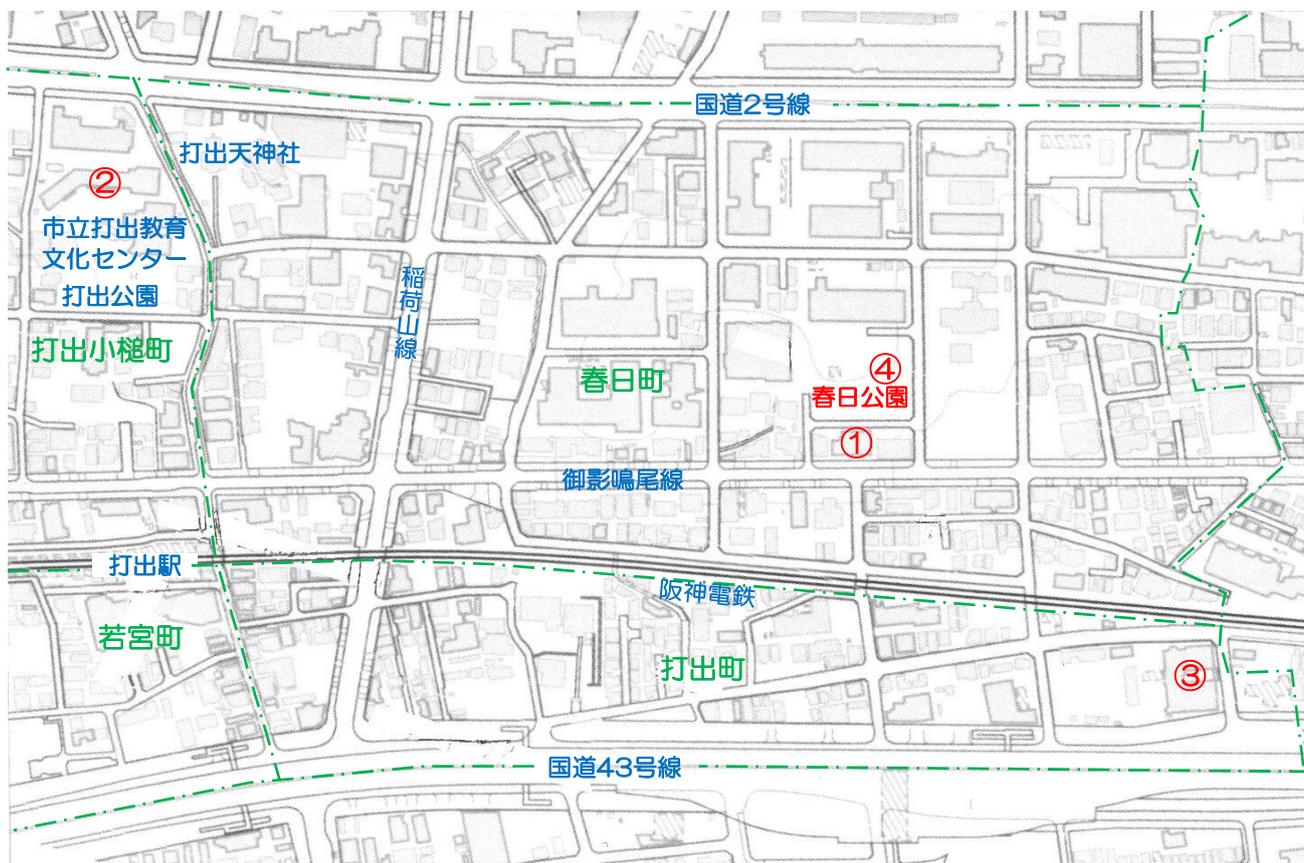
1 . 基本方針

災害が発生した直後は、交通網の寸断・火災の同時多発などにより消防や警察などの防災機関が十分に対応できない可能性があります。そのようなとき、力を発揮するのが「地域ぐるみの協力体制」です。避難所に指定されている春日集会所も、「自分たちの地域は自分たちで守る」という心構えで、地区のみんなで助け合いながら、芦屋市と協力し合い、避難所開設・運営を行います。

2 . 避難所とは

避難所とは、災害が発生した時に、住居が被害を受け居住の場を失った人や避難指示などが発令された場合に、緊急避難の必要がある人を収容する市指定の学校等の建物のことをいいます。芦屋市内には41ヶ所の避難所があり、春日町は町内のほぼ中央の御影鳴尾線沿いにある春日集会所が避難所に指定されています。それと春日町西側に隣接している芦屋市立小槌幼稚園も避難所に指定されています。

風水害時は特定の避難所のみ市が開設を行ないますが、地震等の大規模災害時はすべての避難所が開設の対象になります。



記号	避難場所等	施設名	所在地	電話番号
①	避難所	春日集会所	春日町13番17号	32-5377
②	避難所	市立小槌幼稚園	打出小槌町15番7号	22-4885
③	福祉避難所	reach芦屋	打出町6番4号	35-5766
④	防災倉庫	春日公園内	春日町13番17号	

※福祉避難所は災害発生時に必要に応じて開設する2次的な避難所であるため、災害発生後に直接、福祉避難所に避難することはできませんので、ご注意ください。

3 . 春日集会所（避難所概要）



■ 春日集会所概要

構造規模	鉄筋コンクリート平屋建、洋室5室
床面積等	敷地面積：455㎡ 床面積：213㎡
築年・耐震性能	1982年 新耐震
備蓄防災資機材 (春日町自治会所有)	ランタン9台、非常用トイレ Tent 1基、防災ラジオ1台、 ハンドマイク1台（増設予定：カセットコンロ、非常用トイレ）

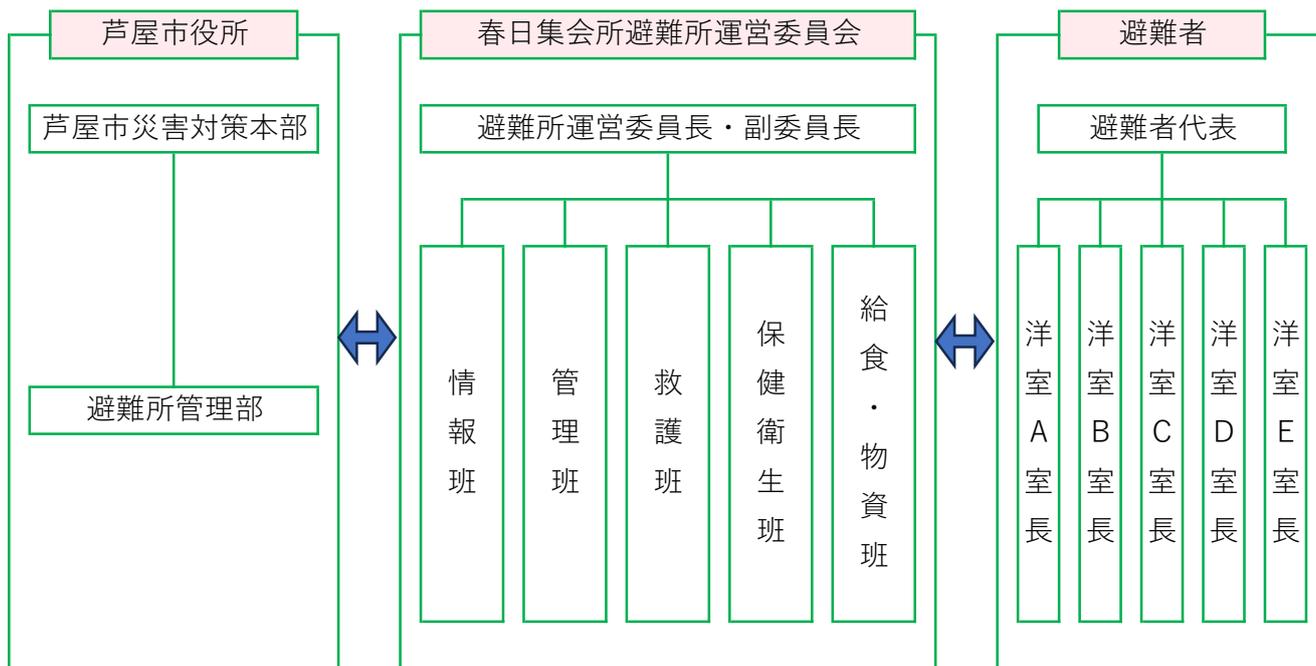
■ 各室想定収容人数

室名	床面積 ㎡	想定収容人数		
		2㎡/人 人	通路確保2㎡/人 人	1㎡/人 人
洋室 A	21	10	7	21
洋室 B	64	32	20	64
洋室 C	15	7	4	15
洋室 D	19	9	5	19
洋室 E	35	17	10	35
合計	154	75	46	154

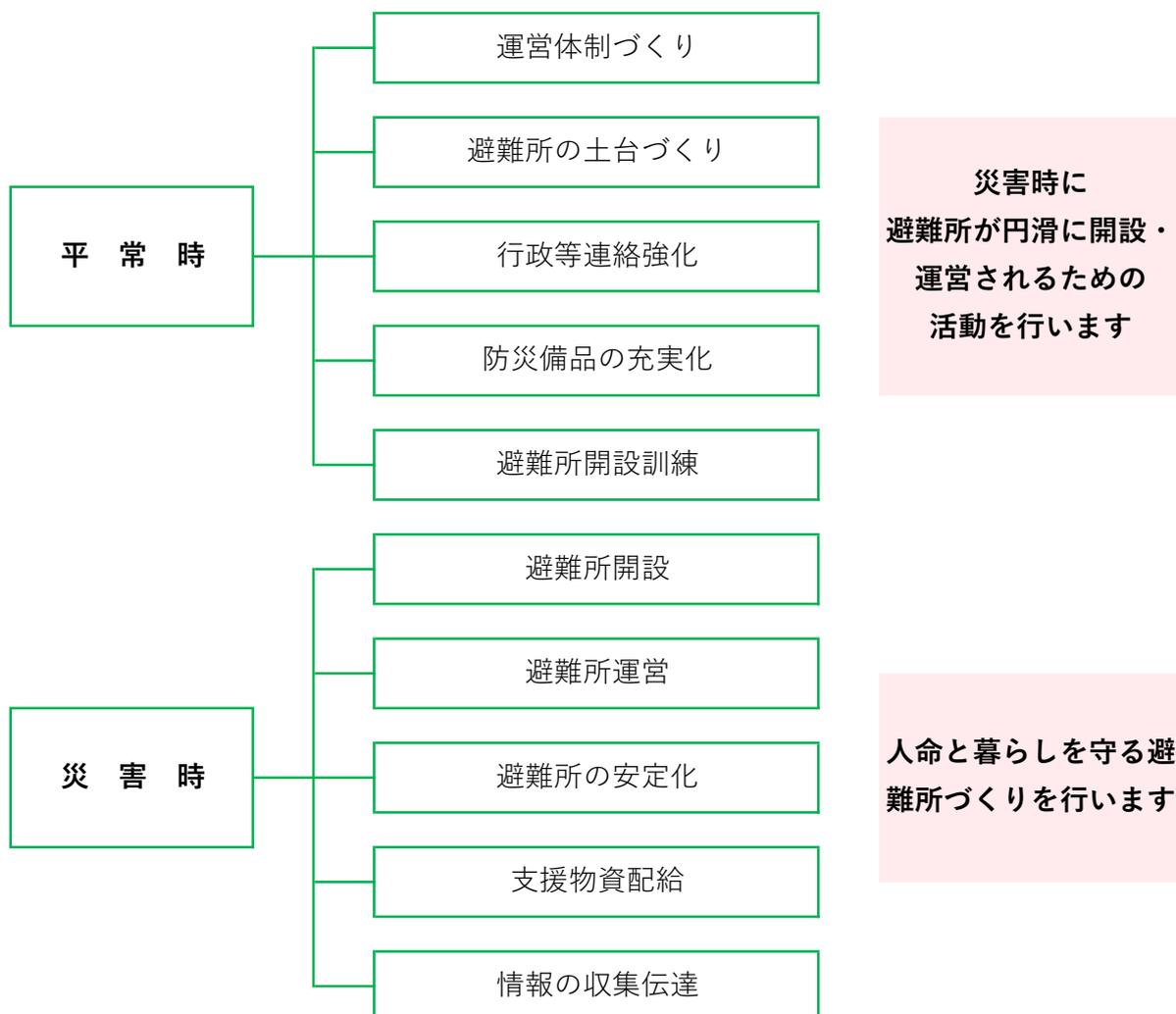
■ 春日集会所に避難する場合の注意点

- ・ 上記春日集会所概要に表記している通り、集会所に防災の資機材はほとんど備蓄されていません。平常時に非常用持ち出し袋等の準備をお願いします。
- ・ トイレも災害状況により使用できない可能性がありますので携帯用トイレの準備をお願いします。

4 . 避難所運営体制



春日集会所避難所運営委員会の役割



5 . 春日集会所避難所近隣地域の人口及び世帯数

町別人口及び世帯数

2024年12月1日現在

町名	男	女	合計	世帯数
春日町	838	1,109	1,947	989
打出町	215	241	456	264
合計	1,053	1,350	2,403	1,253

6 . 避難所運営の基本方針

(1) 避難所は大災害時、地域の支援・活動拠点

避難所（隣接する春日公園を含めて）は、避難所で生活する方だけを支援するのではなく、地域の支援・活動拠点として、在宅避難などで避難生活を送る方も支援の対象として、物資配給(避難所に指定されている春日集会所には芦屋市からの防災資機材の備蓄は一切ありませんので春日町自治会で可能な限り、充実化していきます)、情報提供などを行います。

(2) 避難所の運営は避難者に積極的に参加

避難所運営を円滑に行うため、避難所運営委員会だけで避難所を運営せず、避難者も参加し合同で行います。

(3) 要配慮者にも配慮した避難所づくりに取り組む

高齢者や障害のある方、乳幼児、児童、妊産婦など、配慮が必要な方も安心して避難生活を送れるように取り組みます。

7 . 避難所開設・運営・閉鎖の流れ

(1) 大災害発生

身の安全を確保する。隣近所の出火や救助等の必要性の確認し、対応する。

(2) 避難所開設

ア 避難所解錠

迅速に対応するため、必要箇所を解錠出来るように調整中。

イ 施設の安全点検

集会所全体の被害状況を目視により確認する。建物の傾きや大きな亀裂等が無く安全が確認された後、避難所の開設準備に係ります。

ウ 避難スペースのレイアウト決定

災害の状況により、予め設定された避難スペースのレイアウトを床にテープを貼って区画割を行います。

エ 避難者受け入れの準備

中庭に受付テーブルや案内用掲示板を設置し、避難者カードを整えて受け入り準備を行います。

オ 避難者受け入れ開始

避難してきた人に避難者カードに記入してもらい、避難人数の把握および避難者名簿の作成を行います。

カ 避難スペースの誘導と割り振り

各室への誘導と避難スペースの割り振りを行います。

(3) 運営体制づくり

避難所開設後、円滑な避難書運営のためにしっかりとした体制づくりを行います。

ア 運営委員会の設置

春日町自主防災会が運営委員会を構成していますが避難者からも代表者と班編制の班長を選出してもらい、委員会を設置します。

イ 運営委員会会議の開催

避難者の班編制と役割分担を協議する。避難所で生活する上でのルールやマナーを周知します。

(4) 避難所運営

ア 芦屋市との連絡体制の確立

芦屋市などから正しい情報を収集し、地区住民に伝達します。また、避難者数などを取りまとめ、芦屋市へ報告します。

イ 在宅避難者への対応

在宅避難者に対して支援物資、食料の配付を行います。

ウ 管理の徹底

不特定多数の人が生活する避難所では衛生、食事、健康管理に注意し、非常用トイレの増設や暖かい食事が出来るようにカセットコンロ及びボンベを設置して訓練、運営を行います。

(5) 避難所閉鎖

避難者の減少が始まると芦屋市との協議を行い、閉鎖の準備を行います。

8 . 春日集会所避難所運営委員会の班編制

班名	役割
情報班	公共機関等からの情報 収集・伝達
管理班	避難者の把握、施設の利用管理
救護班	避難者の健康状態の確認、要配慮者への対応
保健衛生班	避難所の生活衛生環境の管理
給食給水・物資班	炊き出し等の給食・給 水活動、物資の配給

9 . 防災倉庫

阪神・淡路大震災の際に、地域での救助・救護の必要性が顕著となった経験を踏まえ、地域住民が初期消火、救助、救護ができるように市内42か所に防災倉庫を設置され、資機材が配備されました。春日町は春日公園に配備されています。災害時は防災倉庫を管理・運営します。



■防災資機材一覧表

	品名	数量	用途
初期消火用資機材	可動式動力ポンプ	1	火災や水害対策に使用する。燃料30:1 3.5ℓ
	吸水管一式	1	可搬式動力ポンプに接続し、使用する。
	ホース	10	動力ポンプ又はスタンドパイプに接続し延長する。
	組立簡易水槽	1	防ア用水を貯水する。吸管支持スタンド付
	スタンドパイプ	1	消火栓口に接続し、吸管又はホースに接続する。
	キーハンドル	1	消火栓キーを開閉する。
	媒介金具65→50・50→65	1	ホースを動力ポンプ又はスタンドパイプへの接続時に使用する。
	管そう	1	ホースの先端に接続、放水する。
	消化器	1	蓄圧式 ハツタPP-10C
	ヘルメット	20	活動時、頭部を保護する。
救助用資機材	ハンドマイク	3	警報、広報時に使用。電子サイレン付
	ガスパワー発電機	1	エネポ 定格出力900VA 最大2.2時間
	ガスボンベ	18	
	ガスパワー発電機用エンジンオイル	1	ホンダ 4サイクルオイル
	投光器	1	発電機に接続
	投光器用三脚	1	投光器とセット
	コードリール	1	延長コード 30m
	可搬式ウィンチ(チルホール)	1	重量物にワイヤーを掛け、移動させる。横引2.5ト縦引1.6ト
	救命ロープ	2	1巻 200m
	スコップ	10	
	ツルハシ	10	
	ジョッキ	10	重量物のジャッキアップ 800kg
	二連梯子	1	全長4.43m・縮長2.85m・重量11.5kg
	バール	20	
	のこぎり	10	
	おの	10	
	大ハンマー	10	
	ボルトグリッパー	5	切断径10mm
	ベンチ	10	切断能力3.5mm

	災害救助工具セット	1	6点の道具が収納されています。
	担架	2	負傷者の搬送に使用します。
	簡易担架(スマートムーバ)	3	負傷者の搬送に使用します。
	手袋	10	活動時、手部を保護する。滑り止め付
救 護 用 資 機 材	防塵マスク(5枚入り)	60	使い捨て。
	防水シート	3	寸法3.6m×3.6m
	水中ポンプ	1	吐水口径50mm 20mmホース 吐出量120ℓ/分
	簡易ベッド	5	
	救急医療用セット	3	約20人用、外傷用 平成26年度に更新
	テント(三方幕付)	1	鉄骨フレーム3.6m×5.4m
	毛布	10	アルミ圧縮パック
	炊飯装置(BOX付)	1	LPGガス(10K用)及び薪用 釜入り水量55ℓ(30升)
	釜(かまど付 7升)	3	薪用 釜入り水量12.6ℓ(7升)
	飲料用水槽(組立式)	1	飲料水の貯水 1ト
	折りたたみ式給水容器	1	容量10ℓ 10枚セット
	食器5点セット	30	キャンピング食器5点セット
	リヤカー(折りたたみ式)	2	折りたたみ式 ノーパンクタイヤ
	ラジオ	2	手回し充電機能
	非常用ローソク	3	12時間使用可 マッチ・コップ付
	台車	1	トラスコ社製 芦屋市

春日町自治会と春日町自主防災会は昨年2024年に作成しました「**芦屋市春日町地区防災計画**」に引き続き「**避難所開設編**」を策定いたしました。内容につきましてはまだまだ不備な部分もあり、今後も芦屋市防災安全課、企画部市民参画・協働推進室、自主防災連絡協議会、打出町自治会、打出小槌町自治会、若宮町自治会等と継続的に協議を行い、充実させていきたいと思っております。

自治会の皆さま全員に配付いたしますので、ご一読下さい。今後も引き続き、防災訓練、防災の講座やワークショップ（参加体験型講座）を開催し、少しでも防災力を高めていきたいと思っておりますので自治会の皆さまもご協力の程、よろしくお願いいたします。

2025年3月31日
芦屋市春日町自治会
芦屋市春日町自主防災会